

## 挨 捂

広島大学経済学部附属  
地域経済研究センター長 機本 功

本日は大変お忙しい中、多数の方々にお集まり頂きましてありがとうございます。

私どもの地域経済研究センターは、設立されましたのが平成元年でしたから、ちょうどまる7年を過ぎようとしているところです。今回は今年度の2回目の研究集会でございまして、松山で第1回目の研究集会を行っております。

従来、私どものセンターは広島でいろんな会をさせて頂いていましたが、松山の方々が海を渡って四国でも同じようなことをやって欲しいというご希望を出されまして、私どもも広島以外ではやっておりませんので、では松山に行こうかということで11月に松山で研究集会を開かせて頂きました。

明日も中国地方の主たるシンクタンクの方々にご報告頂きますが、前回の11月には四国のシンクタンクの方々に主としてお集まり頂きましてご報告を頂きました。松山でやりましたものですから、広島の会員の方々にはちょっと遠かったかなということで、今年度は2回目の研究集会を今日及び明日で開かせて頂くということです。

それから今回は日本計画行政学会中国支部の大会と一緒にやらせて頂きます。実は私は日本計画行政学会中国支部の支部長を務めておりまして、昨年は山口でやって頂きましたし、来年は岡山でやらせて頂きますが、今年は広島の番です。しかしそれを独立で実施するという余裕がありませんし、しかも目的が殆ど同じですから、今回こうして地域経済研究センターの研究集会と一緒に日本計画行政学会中国支部の大会もさせて頂くということになったわけです。

いずれにしましても、今日は橋口会頭さん、それから九大の矢田先生、まさに日本の誇るお二人の方の基調講演をいただきます。特にこの広島がこれから何をしたらいいかという貴重なご意見をお二人の方々からいただけると思いますので、是非とも皆様方にもご静聴を頂ければと思います。宜しくお願ひいたします。



## 挨 拶

地域経済研究推進協議会会長  
中国経済連合会専務理事 林 憲 弘

地域経済研究推進協議会は、先程ご紹介がありました  
が、平成元年5月に広島大学に地域経済研究センターが  
設置されたのを契機に、地域経済に関する研究活動を一  
層推進することを目的として、その翌年の3月に地元の  
産官学の方々にご参加頂き設立いたしました。その後会  
員の皆様方の絶大なるご支援の下に、シンポジウム、研  
究集会、セミナー、研究会等の各種行事を広島大学経済  
学部附属地域経済研究センターとの共催で行ってまいり  
ました。また、これらの行事の成果を報告書として刊行することによりまして、地域経  
済の活性化を図っているところであります。私どもも拝見しております、広島大学の  
地域経済研究センターが創立以来継続的に毎年こういった研究集会等を主催されている  
ご努力に対しまして、大いに敬意を申し上げる次第であります。



今回の研究集会は、先に昨年11月9・10日の両日に松山市で開催した第7回研究集会  
に次ぐ、今年度第2回目の研究集会であります。本日と明日の2日間にわたりまして、  
講演、相互討論会、研究報告会をさせて頂こうと存じております。ご案内のように、本  
日は地域経済研究センターと地域経済研究推進協議会、日本計画行政学会中国支部の三  
者の共催で、「広島は何をなすべきかー次期全総への提言ー」のテーマの下に、先ずこれ  
からお二人の方にご講演をいただくことにしております。まず、最初に広島商工会議所  
の橋口会頭に「21世紀の広島像」と題してご講演をいただきます。続きまして九州大学  
経済学部の矢田俊文先生にご講演をいただきます。演題は「中枢都市広島を考える」で  
あります。その後、これを受けまして櫻本先生の司会で橋口会頭と矢田先生のお二人の  
先生を交えて相互討論会を開催して頂きます。皆様には大変お忙しい中をご出席いただきま  
してありがとうございます。心からお礼申しあげます。

また明日は中国・四国地方のシンクタンクの方々にご参加頂きまして、午前午後にわ  
たりまして5件の研究報告をして頂くことになっております。報告者はもとより座長並  
びに討論者の方々には、諸事ご多忙の中をお越し頂きましてまことにありがとうございます。  
今回の研究集会が地域の発展に寄与すると共に、ご出席の皆様方にとりまして意義  
のあるものになることを、心から願っております。

最後に当協議会の入会のご案内をさせて頂きます。地域の産官学の方々のご努力に依  
りまして、現在53団体の方々にご入会を頂いております。今後一層活動を活発に推進す  
るために、より多くの皆様方のご入会をお願いできればと考えております。どうかよろ

しくお願ひ致します。詳細につきましては中国経済連合会の方に事務局がありますので、そちらの方には是非お問い合わせを頂ければ幸いと存じます。どうか最後までご静聴頂きますようお願いしまして、私のご挨拶とさせて頂きます。